

# 山形市上下水道部ウォーターPPP導入に係る基本方針

## 1 目的

国・県の長期ビジョンでは、人口減少により、今後の上下水道事業の経営環境が厳しいものとなる見通しとしている。また、上下水道事業を持続していくため、水道事業は「持続」「安全」「強靱」の観点から、公共下水道事業では「循環（環境）」「持続」の観点から、長期的な将来を見据えた理想像を位置づけ、経営環境の変化に適応していくことが必要であることを示している。

山形市の上下水道事業においても、水需要の減少や、更新需要の増大などにより、今後の経営環境が非常に厳しいものとなる見通しである。これらを踏まえ、将来にわたって上下水道事業を持続させていくには、常に経営環境の変化を捉え、民間活力を活用した更なる経営改善策を講じることが必要である。

本方針は、民間活力活用手法の一つであるウォーターPPP導入に向けた上下水道部の考えを示し、将来にわたり上下水道事業を安定的に持続していくことを目的とする。

## 2 概要

ウォーターPPPとは、「官民連携（管理・更新一体マネジメント方式レベル3.5）」と「公共施設運営（コンセッション方式レベル4.0）」の総称である。「ウォーターPPPの導入」とは、レベル3.5もしくは4.0のどちらかを導入することである。

### ウォーターPPP

包括委託 レベル1.0	包括委託 レベル2.0	包括委託 レベル2.5	包括委託 レベル3.0	管理・更新一体 マネジメント方式 レベル3.5	コンセッション方式 レベル4.0
契約期間 3～5年	契約期間 3～5年	契約期間 3～5年	契約期間 3～5年	契約期間 10年	契約期間 10～20年以上
運転管理 保守点検	運転管理 保守点検	運転管理 保守点検	運転管理 保守点検	運転管理 保守点検	運転管理 保守点検
	資材調達・管理	資材調達・管理	資材調達・管理	資材調達・管理	資材調達・管理
		修繕工事 (一定金額以下)	修繕工事	修繕工事	修繕工事
				更新工事	更新工事
					運営権

## 3 方針

ウォーターPPPを導入する場合は、「管理・更新一体マネジメント方式レベル3.5」とする。

#### 4 要件

- ① 長期契約 : 原則 10 年
- ② 性能発注 : 管渠は仕様発注から段階的な性能発注への移行も可能
- ③ 維持管理と更新の一体的マネジメント: 「更新実施型」か「更新支援型」を選択
- ④ プロフィットシェア: 工事費や維持管理費を削減できた場合に削減分を官民で分配

#### 5 導入対象

水道、下水道

#### 6 導入に向けた基本的な考え方

日常生活に欠かせない上下水道インフラを安定的に運転・維持管理していくため、以下を考慮し、導入の可否検討を行う。

- ① ウォーター P P P 導入による上下水道事業経営への影響
- ② ウォーター P P P 導入による地元企業への影響
- ③ 事業者の技術力、人材、経営状況などの事業継続の信頼性
- ④ 市職員の体制不足やノウハウ不足による業務の引継ぎや災害時の体制への影響
- ⑤ その他、上下水道事業運営に大きく関わる影響

#### 7 スケジュール (予定)

まず初めに、ウォーター P P P の導入可能性調査を実施する。その結果から、上記の基本的な考え方を踏まえて「導入する」とした場合は、以下のとおりとする。

なお、既に施設の維持管理を包括委託している下水道について、導入検討を先行する。

1 年目 導入可能性調査 (サウンディング調査など)

2 年目 導入判断



「導入する」とした場合

2 年目 公募準備

3 年目 公募、契約・引継ぎ

4 年目 ウォーター P P P 事業の開始

1 年目	2 年目	3 年目	4 年目
●導入可能性調査 ・マーケットサウンディング ・VFM 算定 等	●導入判断 ↓ 「導入する」とした場合 ●公募準備 ・要項作成 等	●公募 ↓ ●契約	●ウォーター PPP 事業の開始